

## 令和2年度は…わたしたちがご案内します！



ようやく？早くも？那須平成の森で1年過ぎました。  
リータ

四季折々を一緒にたのしみましょう。  
こにたん

10年目。気持ちも新たに頑張るので、よろしくお願いします。  
わかさん

3年目スタッフです。自然の不思議を見つけに行きましょう！  
ガッキー

今年もヤマネは元気かな？  
ちいねえ

心と体を第一に！楽しい時間を過ごしましょう！  
マルコ

4月からの新人です！よろしくお願いします。  
こっこん

新年度はこの7名でスタートを切りました！それぞれの意気込みからも伝わるように、個性豊かなメンバーとなりました。那須平成の森らしい体験ができるよう努めていきますので、皆様のお越しをお待ちしております！

## ★令和2年4月1日より、以下のような変更があります★

### ①開園時間

9:00～16:30  
(5・8・10月のみ 9:00～17:00)

### ②休園日

毎週水曜日(国民の休日にあたる場合はその翌日)  
ただしゴールデンウィーク(4月29日～5月5日)、  
お盆(8月11日～16日)、年末年始(12月29日～1月3日)期間を除く

### ③「インタープリターとあるく那須平成の森ガイドウォーク」料金変更

2020年4月から、ガイドウォークコースは以下の3つのグレードに分け、実施いたします。初めての散策に最適なレギュラーコースから、少し距離が伸びた健脚向けのステップアップコース、元御用邸用地として皇室方が歩かれたご散策路など歴史を感じるプレミアムコース、お好みに合わせて選択ください。

また、料金も変更いたしますのでご確認ください。

- ・レギュラーコース 例：フクロウルート 2時間 大人 2,000円 小中学生 1,000円
- ・ステップアップコース 例：カモシカルート 3.5時間 大人 4,000円 小中学生 2,000円
- ・プレミアムコース 例：ロイヤルルート 3.5時間 大人 5,000円 小中学生 2,500円

※その他詳細はホームページまたはお問い合わせください。



## ～フィールドセンターの展示をいくつかご紹介します！～

### 第1回目 森でみつけた「たくさんの不思議」

カウンター展示の多くはハンズオン方式。「たくさんの不思議」は、インタープリターが那須平成の森で拾ってきた様々な自然物を紹介しているもので、季節の移ろいごとに自然物も変わってきます。

来園者はハチの巣を手に乗せて、その軽さを実感したり、ヘビの抜け殻に驚いてみたり。今では、来園者が見つけた、おもしろい自然物を置いていくことも。「たくさんの不思議」を通して、楽しい会話が弾みます。(若林千)



## 那須平成の森 冬のできごと(12月～3月)

### 12月 1月 「モミのハンドクリーム作り」



冬期、短時間の立ち寄りでいらっしゃった方にも自然を楽しんでもらいたいと思い、前年に引き続き実施しました。

実施にあたって、ありがたいことに以前の参加者、そして地域の方から「またやってほしい」と声をいただきました。地元の小学生や県内からこの体験を目当てに来園したという方もいらっしゃいました。みなさん穏やかにお話をされながらリラックスされていたようで「モミをじっくり見たのは初めて」という発見の声や「これをプレゼントしたい」という声もありました。生活の中に自然がプラスされ、それに心地よさを感じてもらえたら嬉しいです。(小西)

### 2月 「満月のスノーシューハイク」

今回のナイトハイクは「野生動物の生活を想像してみよう」と題し、動物の気持ちになって過ごしてみました。最初は動物の歩き方から始まり、匂いを嗅ぐ、色を見分けるなど私たちが人が持っている五感を意識したプログラムを実施。また、後半には10分ほど1人で過ごす「ソロ体験」も行いました。

自身の感覚が研ぎ澄まされ、参加者の方々も「動物の気持ちになることができた」「五感を使うことができた」など、大変満足いただけたようでした。普段の生活でも五感を意識しながら過ごしてみると、いつもの風景が違って見えるかもしれませんよ。(西垣)



### 2月 福島県裏磐梯にて「スノーシュー」スタッフ研修！

スタッフ全員で他ガイド団体や施設に足を運び、そこで得た学びや発見を日々の業務に活かしています。今回は裏磐梯でのスノーシューガイドに参加しました。那須平成の森とは全く違う地形の中でどのような点に注意しているのかなど、学びがたくさんありました。壮大な山岳風景にスタッフ一同、感動しっぱなしでした！(西垣)



## その④「夜に活動する哺乳類」に 注目！

3年前よりスタッフが森の中にセンサーカメラを仕掛けて、哺乳類の調査を行っています。無積雪期に通年記録しているのですが、現在までにツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンジカ、ニホンイノシシ、ホンダギツネ…など10種類以上の動物が記録されました。

特に興味深いのが「映像」の記録です。カメラの前をただ通り過ぎるだけでなく、イノシシが土を掘り返したり、シカが笹を食べたりと、その動物の森の使い方が推測できて面白いです。

またそれら映像を編集し、館内で流す展示物も製作しました。夜行性が多い哺乳類を来園者が見る事は難しいですが、このような映像を通して、哺乳類の暮らしを知ってもらえるとうれしいです。(丸子)



▲館内で放映しています